

横浜市立永田台小学校 平成31年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
一人一人が輝く永田台	<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力 ・問題発見、解決能力 ・自分づくりに関する力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>様々なつながりを大切に、一人ひとりのよさが輝く学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学ぶことの楽しさを味わい、失敗を恐れず、チャレンジすることができる学びを創ります。 ○自他の違いを認め、尊重し合い、助け合うことのできる関係づくりをします。 ○様々なひと・もの・ことと豊かに関わり、思いを語り合える子どもを育てます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

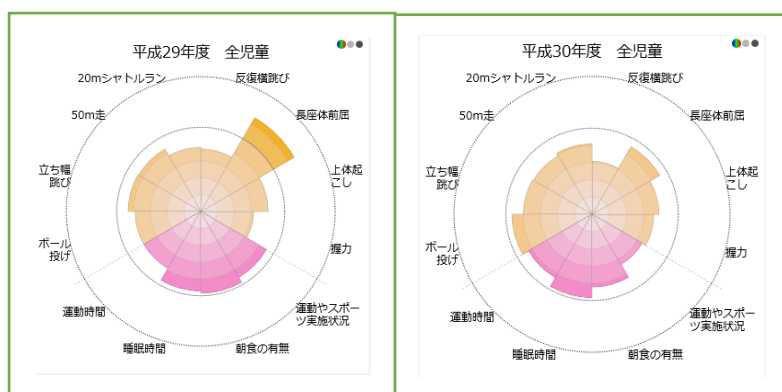
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ① 年2回の体力向上の機会を充実させるとともに、日常的に「休み時間の外遊びの推奨」「放課後の遊びの提案」など体を動かす声掛けをしていく。 ② 「食育」については、家庭科・道徳など各教科・領域との関連を図り教育課程に位置付ける。 ③ 学校保健委員会は児童が主体的に健康について問題解決する場となるよう支援する。
担当	体育部

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・地域のスポーツクラブに所属している児童は市平均を下回っているが、運動時間は市平均に比べて多い。
- ・テレビやゲームをする時間は市平均よりも短く、睡眠時間は市平均よりも長い。

(2) 体力の概要と要因の分析(全校配布の体力・運動能力調査分析チャートを活用)



29年度、30年度の2年間の新体力テストの結果を見ると、ほとんどの項目が市平均を下回っている。生活習慣の安定が少しずつ見られるようになってきた。20mシャトルランの記録の伸びがみられる。6月と11月に行っている体力向上、運動のきっかけとして行っているキラトラの成果が徐々に結果に表れてきている。握力、反復横跳びには課題が見られる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科の取組》

健康な生活を実践する態度、自己の健康のために主体的に課題解決する力を育む。

- ・子供が運動の特性に触れた楽しさを実感し、仲間との対話による課題解決や学習資料の活用による主体的に取り組む体育科の授業展開の工夫。
- ・養護教諭や栄養職員による、子供たちの生活や他教科等の学習との関連を図った取組の工夫。

特別活動・総合的な学習の時間

規則正しい生活をしようとする態度、進んで運動しようとする態度を育む

- ・保健委員会による歯と口の健康を呼びかける取組。
- ・スポーツ委員会やたてわり活動の中での、長縄集会での運動機会の提供。
- ・学校医、養護教諭、栄養職員による歯磨き指導や給食指導などによる自分の生活の状態を見つめ、学んだことを実践できる力を育む特別活動の授業づくり
- ・子ども一人ひとりが輝ける場があり、目標をもって取り組める運動会づくり

課外活動

- ・健全な食生活を営む態度を育むために、給食委員会や栄養職員と連携し、栄養など食に関する指導を行う。
- ・体力テストや身体測定の結果を家庭に持ち帰り、保護者と共有する。

平成 31年度 永田台小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 永田台 健康アップ大作戦

《ねらい》 子ども主体による体育・健康に関する活動を日常的に位置付けて取り組むことで、子どもが運動を日常生活の中に積極的に取り入れようとする態度を育成する。

《内容》 ・スポーツ委員会 前期：ドッジボール集会
・保健委員会 保健集会での歯と口の健康の呼びかけ。

●指 標： ①生活実態調査 ②市学習状況調査の意識調査と子どもの活動の状況の分析